

# 解析演習最終レポート

土木 太郎

2020 年 12 月 18 日

## 1 フレーム実験の説明

フレーム実験の概要を書く．

## 2 骨組み構造解析による数値計算と実験の比較

数値計算と実験で得られた結果を比較する．必要があれば表を用いる．また，数値計算と実験の値が異なる理由を考察する．

表 1: 数値計算と実験の比較

観測点	数値解析 ( $\mu\varepsilon$ )	実 験 ( $\mu\varepsilon$ )
A	10.0	11.0
B	11.0	12.0
C	12.0	13.0
D	12.0	13.0
E	12.0	13.0
F	12.0	13.0

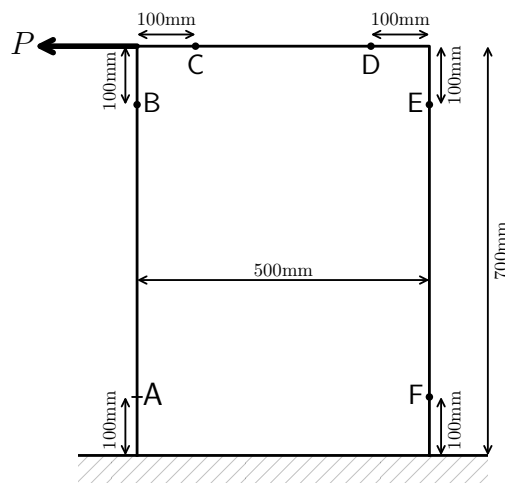


図 1: ひずみの計測点 (この図は不完全です)

### 3 フレームの変形の様子

視覚的に変形の様子が分かりやすいように図を書く．変形の様子が分かりやすくするため，変形を何倍か大きくして描く．また，その変形の倍率を明記する．以下の例は変形を 10 倍にしたときの図．

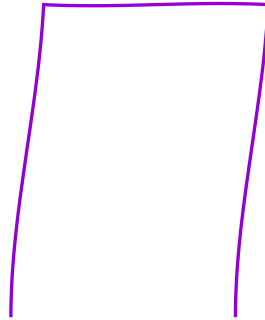


図 2: 変形の様子

### 4 感想

感想を述べる．

### 提出場所，締切日

PandA で確認すること．

## L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X のコンパイル方法

上記ファイルを `report.tex` とします．以下のように，`platex` のコマンドを使うと `dvi` ファイルができます．

```
platex report.tex
```

`dvi` ファイルを `pdf` に変換します．

```
dvipdfmx report.dvi
```

`pdf` ファイルを見るためには，`evince` を使います．

```
evince report.pdf
```